



ロータリーの未来は THE FUTURE OF ROTARY
あなたの手の中に IS IN YOUR HANDS

.....国際ロータリー第2660地区 ■吹田江坂ロータリークラブ.....

SUITA ESAKA ROTARY CLUB

CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日／1990.2.27 事務所／〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

OSAKA
JAPAN

例会場／新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109
会長：渡辺忠雄 幹事：西本健二 会報委員長：速見憲

例会日／毎週火曜日 12:30～13:30

2009年12月1日 第931回例会(第930号)

○○ 本日の例会 ○○

今週の歌 「君が代・それでこそロータリー」

卓話 「私の20年を振り返って」

芳賀洋会員

○○ 次回例会のお知らせ(12月8日) ○○

卓話 「年次総会」

前回〔11月24日〕例会記録

来客

桑原 薫様(卓話者)

石川 達久様(卓話者)

黒松克行君(大阪城東)

岸本和久君(大阪城東)

藏田隆一君(吹田)

会長の時間

渡辺会長

皆様、こんにちは。

先週、皆様にご案内させて頂きました関西大学の溝畠寛治様がお見えになっております。関西大学RACの創立に多大なご尽力を頂き、また、RACの顧問になって頂いております。後程、入会式をさせて頂きますので宜しくお願ひします。会員の皆様には温かくお迎え頂きます様お願ひ致します。

今日は、体臭について話させていただきます。体臭には様々な種類があります。有名なのが加齢臭ほか、疲労臭やダイエット臭等も有るそうです。加齢

出席報告

速見委員

【11月24日】

在籍会員 44名(内出席規定適用免除者 9名)

出席会員 33名(内出席規定適用免除者 3名)

ホームクラブ出席率 86.84%

10月27日のMUを含む出席率 95.24%

臭はその名の通り老化が原因ですが、疲労臭とダイエット臭は体内でエネルギーを作り出す際の不完全燃焼が原因だそうです。疲労のせいで酸素が足りなかったり、摂取カロリーの減少で基礎代謝が低下したりしていると、副産物として乳酸が生成されてしまい、アンモニアとくっついて汗の中に排出される性質があり、これによって体臭が強くなる事があるそうです。これから、飲まれる機会が多くなると思いますがお気を付けて....。

幹事報告

西本幹事

本日例会終了後友好クラブ特別委員会を行います。

ニコニコ箱

黒松克行君 西上さん、新世代月間の卓話ありがとうございました。

新井会員 前回情報集会、欠席しました。

水谷会員 溝畠教授ようこそおいで下さいました。関大RACの発展を祈ります。

小笠原会員 本日、弊所の所員が卓話させていただきます。よろしくお願ひいたします。

内田会員 前回欠席のお詫び。

本日分 26,000円

累計 582,000円

ロータリーとは、他人に対する思いやりと、他人のためにつくすことである。

言行はこれに照らしてから

四つのテスト

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

新会員紹介

溝畠 寛治 君

会員種類：名誉会員

生年月日：昭和20年2月22日

勤務先：関西大学

役名：文学部 教授



卓話

「特許・商標入門」

弁理士 桑原 薫 様
弁理士 石川 達久 様

1. 特許・実用新案制度について
知的財産権の概要、特許権の効力、特許制度を利用するビジネス上の意義、出願から権利化までのプロセス、権利解釈上の留意点をご説明。
2. 商標制度について
商標制度の目的、商標の機能、保護対象、商標登録を受けるための留意点、権利化後の手続、商標を利用したブランディング戦略をご説明。



自己紹介（11月10日・第928回例会）

依田 悠介 君

(大阪大学大学院)



吹田江坂ロータリークラブ推薦2010-2011年度
ロータリー財団国際親善奨学生候補生の大阪大学大
学院の依田悠介と申します。

本日は、自己紹介の時間を設けていただき誠に有
難うございます。私は現在大阪大学大学院にて、理
論言語学という研究分野を研究しております。理論
言語学の醍醐味は、言語理論を通して我々の人間の
認知機構についての理解を深め教育・医療・そのほ
かに応用の可能性がある点であると考えております。

留学先の候補は、先日第一志望であったニュー
ヨーク大学へのアサインを国際ロータリーから受け
ました。現在はニューヨーク大学への入学許可を得
られるように書類などをそろえているところでござ
います。

留学先では、今後実験的な手法を用いた脳科学研
究や、医療などとのコラボレーションを通して更なる
理論の発展および、プラクティカルな応用につい
ておよび、純粋な理論研究の両分野についての研究
ができればと考えております。

また、現在は大学院生として研究を続ける傍ら、
大学で留学生に日本語を教える仕事や、高校で英語
を教える仕事をさせていただいております。この経
験を留学先でも生かせたらと思っております。

最後になりましたが、このような貴重な機会をい
ただける事を皆様に感謝しております。また今後とも
温かいご指導ご鞭撻を頂戴できれば幸いでござ
います。